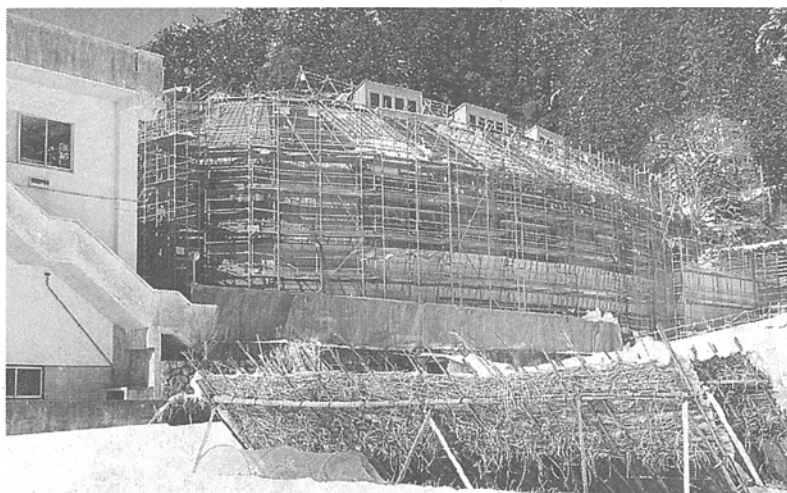


体育館まるごと巨大卵

小菅中敷地に完成間近

小菅村は、小菅中敷地内に新しい体育館の建設を進めている。周囲の環境や景観との調和を考慮した独創的な外観。村内を含む県産材を多く活用し、生徒の情操教育や郷土愛の醸成にもつなげたい考えで、2月末の完成を目指している。

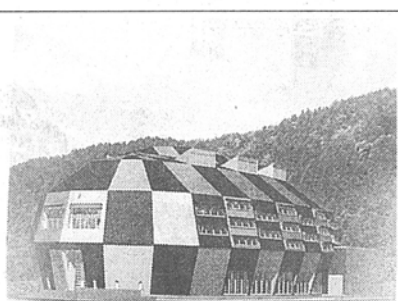


建設が進む
小菅村体育館—小菅村

県産材活用、郷土愛育てる

村教委によると、新体育館の名称は「小菅村体育館」で、延べ床面積は878・49平方メートル。このうち1階部分(720・26平方メートル)にはバスケットとバレーのコート各1面、バドミントンコート2面を確保できるほか、ステージの垂れ幕は、清流が流れる村内の河原をモザイク画でデザインする。総事業費は2億8140万円。

施設の骨組みとなる柱は、すべて県産材のアカマツを角材にしてつなぎ合わせている。このほか建物内外の壁板



小菅村体育館の完成予想図